



浜松観光ボランティアガイドの会

5年ぶりに完全復活！浜松まつり開催

5月3日から5日まで5年ぶりに完全復活した浜松まつりが、三日間素晴らしい晴天の下、盛大に開催されました。浜松まつり組織委員会の発表によると、今年の人出は合計245万3000人。松本潤さんが参加した2023年に次いで過去2番目の多さを記録したそうです。

私たちボランティアは例年通り、大飢前記念撮影、凧揚げ体験受付、浜松まつり会館案内、同時並行で駅の案内、浜松城案内で浜松まつりを支えました。凧揚げ会場では、記念撮影が一番人気で、三日間の接客数合計は7659人！まつり会館入場者合計3549人の約2倍でした。三日間の来場者動向としては3日が最も多かったです。まつり会館の入場者は4日が1532人と最も多く、賑わっていました。浜松城も連日3000人近くの来場者でした。



改札口で待つ人々

私自身3日は浜松駅インフォメーションの当番でした。浜松駅構内に見たことがないほど多くの人が行き交い、多くの人が出迎えに集まっていました。

駅のインフォメーションを利用する人は、凧揚げ会場や花博会場に行くためのバス乗り場を探す人がほとんどでした。外国からのお客さまも多く、HELPの会の当番の方と協力して対応しました。外国の方といえども、浜松まつりへの関心度はとても高いようでした。



賑わう吹奏楽パレード

特に3日夕方には鍛冶町通りで高校生や一般の吹奏楽団の行進があり、去年の武者行列を思い出しました。たくさんの参加団体とそれを迎える観客

アクトシティ浜松のサンクンプラザでは、三日間を通してコンサートや飲食の屋台が出ており、

を見て、改めて音楽の街であることを実感しました。

4日はシャトルバスに乗って凧揚げ会場へ。アクト大通りにはたくさんの御殿屋台が並び、朝からテンションが上がりました。

9時過ぎに到着、既にたくさんの人たちが記念撮影に



私も記念に！

並んでいて、慌てて手伝いに入りました。私

がこの記念撮影に参加するのは2回目でしたが、以前よりも喜ばれる方が多い印象でした。「良い記念になった」「法被を着てみたかったからうれしい」などのお声をたくさん頂き、とてもうれしかったです。夜は御殿屋台引き回しです。こちらは観客として楽しみました。鍛冶町の交差点で、次々とやって来る各町の御殿屋台を見て、それぞれ大きさや装飾、お囃子が違うことに今更ながら驚き、感動しました。特に元城町の屋台がお城そのもので、かなりのインパクトでした。時折練りもそこかしこで展開され、これぞ浜松まつりという夜が更けていきました。



朝のアクト大通り

私



凧揚げ体験の様子

浜松出身でない私にとって、ここまでまつりを堪能したのは初めてです。神ではなく、人のまつりだけど、改めて浜松まつりの素晴らしさを体感することができました。5日の夜はまつりの終わりの切なさが漂い、名残を惜しむようにお囃子の音がいつまでも聞こえているような気がしました。



行き交う御殿屋台

広報部 松沼素子 (南ブロック)

新入会員 犀ヶ崖資料館研修会



資料館内で聴講する新入会員

を心配して 20 分以上も歩いて来た人もいましたが、合わせて 26 期会員 18 名が参加しました。

初めに織田資料館部長から資料館の説明があり、続いて 2015 年の建替りニューアルオープン以来ずっと来館者に視聴していただいている「三方ヶ原の戦い」をはじめ全 4 章 (約 18 分) のビデオを見ました。「ガイドマニュアルの内容が多過ぎて覚えられない」と嘆いていた参加者も、子供で

従来、各ブロック単位で行われていた犀ヶ崖資料館の新人研修が 5 月 7 日 (火)、13 日 (月) と二日間に分かれて実施されました。両日とも雨天のため、駐車スペース

も理解できるように作られたビデオの内容に少し安心したようでした。

続いて事務局作成の犀ヶ崖資料館管理マニュアルが配られました。分かりやすい絵と写真入りの冊子で、これを使って春日事務局長が入館する際



説明を聞いて確認する様子

の注意点やセキュリティ解除・開始の方法、来館者への接客のあり方など多岐にわたって説明がありました。

「私たちも、いよいよだね」と不安そうに話していた新入会員も、研修の終わりには安堵とともに期待の表情に変わっていました。

広報部 高羽百代 (北ブロック)

会員の交流広場

浜名湖花博 2024 フラワーパークで踊る!

4 月 29 日 (月)、浜名湖花博 2024 開催中で藤満開のフラワーパークにおいて、敬心会中国舞踊部のメンバーで踊る機会を頂きました。私は中国滞在時に、中国舞踊を習い始めました。3 歳からモダンバレエを習っていて、踊るのが大好きです。普段は中国琵琶を弾く夫の演奏に合わせて踊り、いろいろなイベントに参加させていただいています。もっと上手になりたいと、敬心会中国舞踊部にも所属して、月 3 回レッスンを受けています。

敬心会中国舞踊部は伊藤治奈先生がご指導されています。伊藤先生は中国滞在 16 年、中国でも舞台活動をされていたすごい先生です。中国舞踊だけでなく、日本舞踊や詩舞 (詩吟舞踊) も指導されていま



チベット舞踊を踊る様子

いて、一緒に踊りました。

踊った場所は、動物園入口に近いフラマウントというエリアで、この日は芝生で皆さんのんびりくつろいでいました。

中国舞踊には古典舞踊と民族舞踊がありますが、今回は自然の中で踊るため、自然との一体感を感じ

ています。この中国舞踊部には西ブロックの前原福子さんも所属されて

じられるチベット舞踊と、モンゴル舞踊を 2 曲ずつ踊りました。チベット舞踊の袖は長く、それを美しく投げながら踊ります。チベット族が祝賀や敬意の印としている带状の白い布 (ハグ) のように使われることもあります。



箸を使ったモンゴル舞踊

モンゴル舞踊も馬に乗る表現があるなど、自然と共にある踊りです。今回、私たちは箸を使って踊りました。写真の赤い布は箸 20 本ほど束ねた根元についています。モンゴル族はお酒が好きなので、草原でよく宴会をやるそうですが、興が乗ってくると宴会で使っていた道具を使って踊り出し、それが箸の踊りになったと言われています。盃をカスタネットのように鳴らしながら踊る、盃の踊りもあるくらいです。

空の下で踊るのは、のびのびと自由でとても気持ちよかったです。みんなで楽しく踊ることが出来ました。中国舞踊に興味のある方、私たちと一緒に踊りませんか。

南ブロック 松沼素子

佐鳴湖を歩こう！



4月30日(火)の西ブロック月例会後、天候不良で2月に中止になった「富士山の日ウオーク」のコースを巡るミニ研修を行いました。

佐鳴湖は一周約6km、東西約0.6km、南北約2.3km、水深約2mの湖で市街地に隣接しているため水質汚染で2001年～2006年まで全国ワースト1位、最近



青空が映える佐鳴湖全景

はワースト5位以下となり多少水質が改善されています。湖畔は佐鳴湖公園として遊歩道や漕艇場・野鳥観察舎・木道などが整備され、水と緑に恵まれ野鳥も多く観られる環境にあります。遊歩道はウォーキングコースになっており、多くの人が楽しんでいます。

コース西岸沿いには、国土地理院地形図に記録されている静岡県で一番低い山で標高32mの根川山、伊能忠敬の碑、佐鳴八景歌碑などの記念碑、

ト1位、最近
はワースト5
位以下とな
り多少水質
が改善され
ています。湖
畔は佐鳴湖
公園として
遊歩道や漕
艇場・野鳥
観

富士見水門(晴れた日には浜松医療センターの横に富士山が望めるスポット)がありました。今回は残念ながら富士山が見えませんでした。

コース東岸沿いには石割広場、さらに北岸には築山御前が上陸したと言われ伝えられた小藪船着場跡、御茶屋橋のすぐ西側で源範頼別邸御茶屋があったといわれる場所、カワセミが観察されるポイントを巡りました。



源範頼の別邸御茶屋跡の看板の前で

以前の御茶屋跡の石碑・説明看板はトラックが衝突し破損したため、浜松観光ボランティアガイドの会の会員も協力して近くの民家敷地内に移設されたそうです。

佐鳴湖畔は豊かな自然、史跡など多くの見所があり、季節によっていろいろな景色が見られるので皆さんもぜひ歩いてみてください。

広報部 山田利夫(西ブロック)

新入会員の入会動機



子供の頃から浜松城やその周辺で遊んでいました。その為、家康の散歩道に当たる寺社仏閣が自然に身に付いたと思います。しかし、当時は深く歴史を知らず寺社の名称や存在している場所を知っている程度でした。その後、知人となった浜松の郷土歴史家の故神谷昌志さんから郷土史や著名人等の教えを受け興味が深まりました。年齢を重ねるに連れより深く家康、お田鶴の方、築山御前、信康を知りたくなりました。小さな一つの知識から縦の情報、横の情報が加わり知識となり、徐々に浜松の歴史にのめり込んでいきました。

その中で、南ブロックにいる会社員時代の先輩からお誘いを受けまして「浜松観光ボランティアガイドの会」入会を決意致しました。

東ブロック 藤田 允



「どうする家康」の大河ドラマ館が旧元城小学校跡地に建設が決まり、ボランティアとしてお手伝いできればと考えていました。令和4年12月にホームページ検索から参加申し込み、研修を経て令和5年2月19日にボランティア初日を迎えました。担当は二の丸案内です。1年間続くボランティアなので失敗しながら多くの事を学び頑張ろうと思って臨みました。ところがそんな思いをぶち壊したのが天気でした。2月ですので寒いのは覚悟していましたが、寒さに加えて横なぐりの雨と強い風。ボランティアどころではなかったことがとても懐かしい思い出です。

ドラマ館では多くの経験をする事ができ、「浜松観光ボランティアガイドの会」の存在を知りました。浜松城を訪れるお客様に対して自分自身も学びながら案内をしてみようと思います。「どうする家康」から浜松城に向かって出陣です。

南ブロック 山下安範

新入会員の入会動機



小さな頃から旅行が大好きです。大学時代は京都に住んで寺社仏閣を巡り、社会人になった今でも土日や長期休暇を利用して国内外を旅しています。旅先で実際に見て聞いて触れ、それまで知らなかったことを知る体験は、わたしにとって何にも変え難い喜びです。そんな喜びを浜松の地を訪れた方々にも味わっていただきたいと感じ、思い切って入会いたしました。趣味を通して強く実感するのは、文化や伝統は繋いでいく人がいなければ消滅してしまうということです。

日本人としての文化や誇りを失わないために、観光ガイドを通じて地域の歴史や文化を学び、その知識を広め、微力ながら文化継承のお手伝いをしていきたいと思っています。

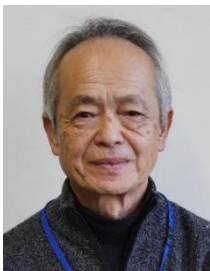
東ブロック 飯田梨恵



定年退職して、自治会活動や耕作放棄地での活動等々、またスポーツを通して皆さんと交流してきました。しかし、改めて考えると地元浜松のこと（歴史的な面から）について意外と知らないことが多いと思っておりました。そんな時、新しく入った卓球同好会のグループの方から「浜松観光ボランティアガイドの会」のお話を聞き、少し興味をひかれました。歴史は苦手ではありますが、自分をそのような環境の中におき、先輩の皆さまからの様々なお話を通して勉強させていただきながら吸収できればこんなに有難いことはないと思います。

そしてこのような活動の中で新しい方との出会いを通して交流できるのが非常に楽しみです。

東ブロック 鈴木正裕



昨年大河ドラマ館でボランティア活動を80日以上させていただき、日本各地海外からの来館者接客という貴重な経験をさせていただきました。暑い日も寒い日も大変忙しい日もありましたが、今思えばとても充実した日々を過ごすことができました。お客様とスタッフさん、ボランティア仲間の方々に感謝しています。

ドラマ館で一緒した浜松観光ボランティアメンバーの方より熱心なお誘いを受け、また新たなチャレンジをしてみようと入会させていただきました。

これから先輩の方々に一步でも近づけるように頑張りたいと思います。先輩の方々ご指導のほどよろしく願いいたします。

東ブロック 渡邊喜信

5月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

12日	日	大阪女子大卒・松の会	12名
18日	土	旅人企画 東海道53次ウォーク 第12・13回	30名 40名
21日	火	トラベルコンシェルジェ	14名
26日	日	ヨコスカ旅行・にせい会	9名

《同行ガイド》

26日	日	カモ・カモンの会	22名
-----	---	----------	-----

《浜松まつり会館》

3日～5日	浜松まつり対応	
9日	木	菜の花会 27名
20日	月	沼津鉄道退職者の会 23名
28日	火	中野校区老人クラブ 20名
31日	金	NPO法人六星ウイズ蛸塚 34名

《犀ヶ崖資料館》

14日	火	公文 浜松と静岡の旅	8名
-----	---	------------	----

はままつ案内人会報 263号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会
 〒430-0946 浜松市中央区元城町 100-2 (浜松城内)
 TEL 053-456-1303
 メールアドレス mail@hama-svg.jp
 ホームページ http://www.hama-svg.jp/



家康公ゆかりの地

はままつ案内人

検索 🔍